

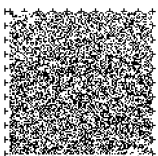


健康は、個人の努力だけでなく、日々の暮らしを取り巻く環境や地域社会のあり方によっても大きく左右されます。また、社会とのつながりを持つことは、心身の健康に良い影響を与えているといわれています。人とのつながりや支え合いを醸成し、健康的な生活習慣を自然に実践できる環境の整備を通じて、誰もが無理なく健康でいられる地域社会の実現を目指します。

▼健康遊具が設置されている公園やコースを案内する案内板



▼海辺の散策路（いつつのわ水門橋）



## 施策1 社会とのつながり

施策の目標 社会とのつながりの醸成

### ①数値指標

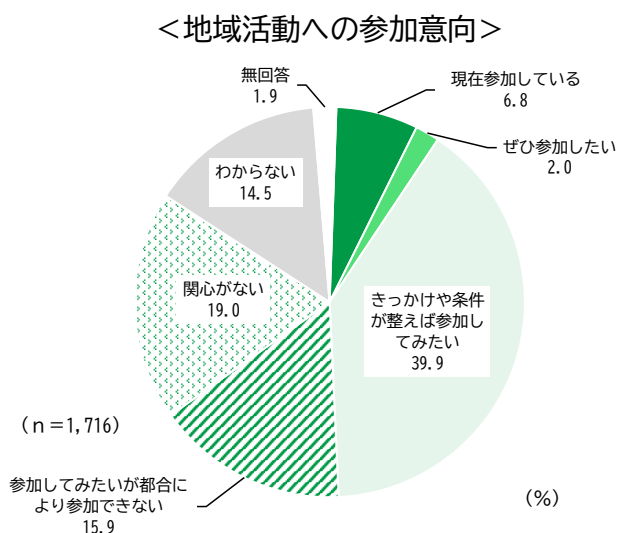
指標項目	現状値		目標値	
	数値	測定年度	数値	測定年度
1年間に自主的な活動に参加したことのある人の割合 (趣味、健康・スポーツ、地域行事、教育・文化、生産・就業、安全管理、福祉・保健、生活環境改善に関する活動)	42.2%	令和6年度	55.0%	令和12年度
地域に愛着を感じている人の割合	男性：70.3%※ 女性：70.1%※	令和5年度	増加	令和12年度

※現状値は、「大田区キラリ☆健康調査 2023」の数値を記載

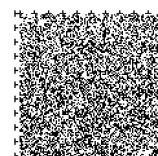
### ②現状と課題

10・20歳代から40歳代の女性で、きっかけや条件が整えば地域活動に参加したいと考えている人が多く見られる

地域活動に「現在参加している」は6.8%と低い一方で、「きっかけや条件が整えば参加してみたい」が39.9%と約4割を占めています。特に女性で割合が高く、30歳代で47.9%、10・20代で46.7%、40歳代で46.4%と4割台半ば以上となっています。



出典：大田区政に関する世論調査（大田区、令和7年度）



今後の課題

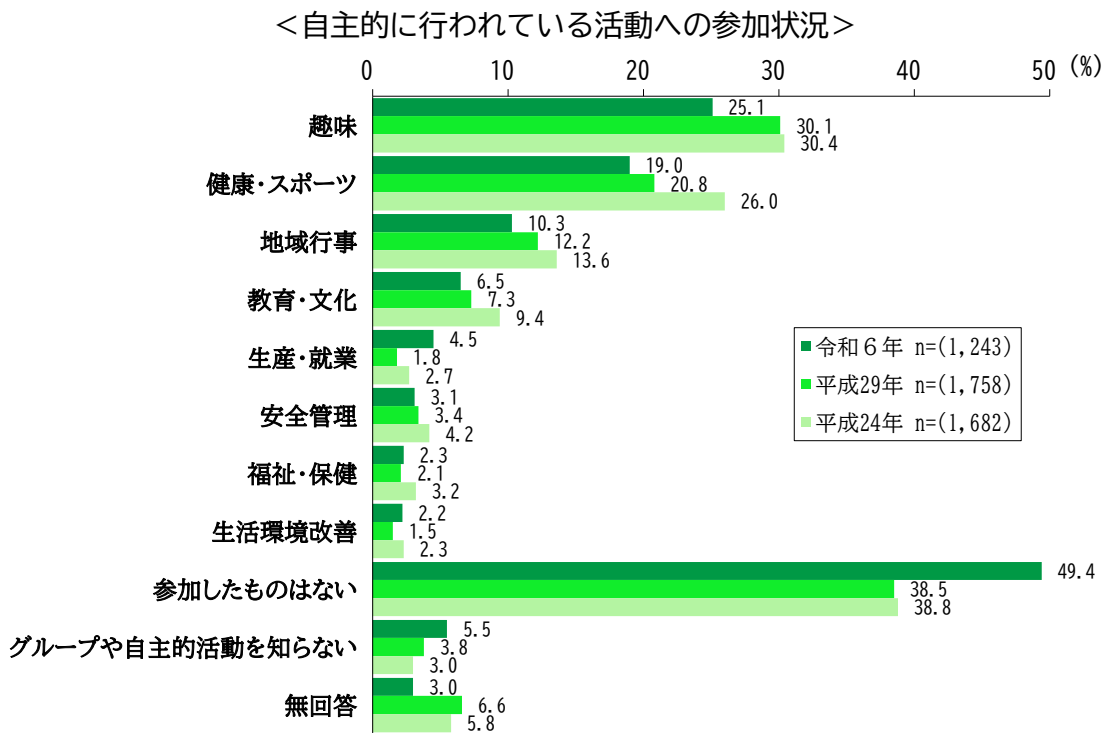
きっかけや条件次第では、地域活動に参加意欲がある人もいることから、地域とのつながりの重要性について周知を図りつつ、健康づくり活動を通じて地域活動等への参加促進に向けた取組を推進することが必要です。

地域のつながりを感じていない人が過半数

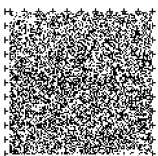
区の施策検証等に向けた大田区区民意識調査（大田区、令和7年度）によると、地域のつながり（住民同士の助け合い・支え合い等）を「感じる（計）」（「感じる」と「どちらかといえば感じる」の合計）が40.6%を占めている一方で、「感じない（計）」（「感じない」と「どちらかといえば感じない」の合計）が57.9%と過半数を占めています。

何らかの自主的な活動に参加したことがない人が約5割

自主的に行われている活動への参加状況は、「趣味」が25.1%で最も高く、次いで「健康・スポーツ」が19.0%、「地域行事」が10.3%となっています。一方、「参加したものはなし」が49.4%を占めています。



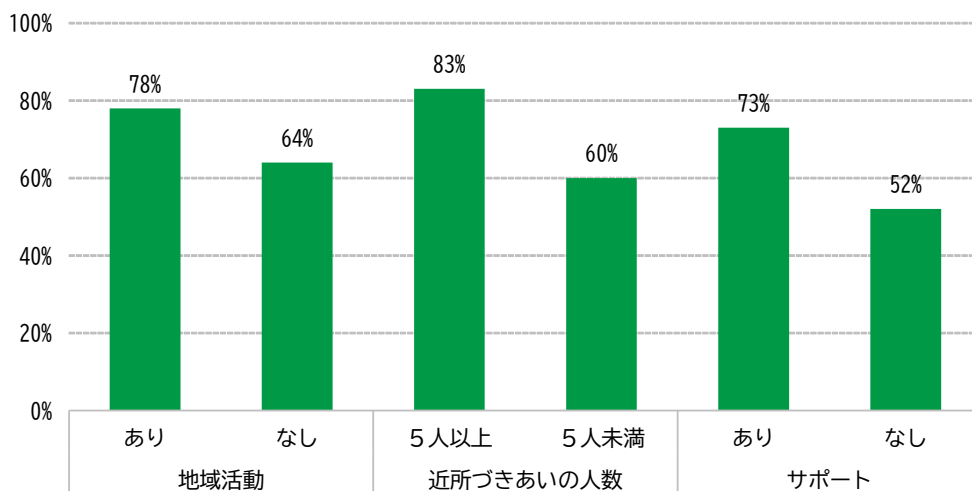
出典：健康に関するアンケート（大田区、令和6年度）



## 地域活動をしていたり、近所づきあいが多い、サポートがある人ほど地域への愛着がある割合が高い

「地域活動」のある人、「近所づきあい」を5人以上としている人、「サポート」（周囲の人との助け合い）のある人で、地域への愛着がある割合が高くなっています。

<地域への愛着について「とてもある」「ある」と回答した割合>



出典：人生100年を見据えた健康寿命延伸プロジェクト事業業務委託報告書（大田区、令和6年度）

### 今後の課題

地域との関わりが少なくなることで、地域コミュニティの活動がさらに低下することが懸念されることから、地域社会や他者とのつながりを醸成することが重要です。併せて、地域や社会とのつながりは地域への愛着や主観的健康感にも関連があるため、様々なライフスタイルや心身の状況であっても、地域や社会とつながる環境を整備していく必要があります。

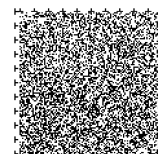
### ③施策の方向性

#### 1 健康づくり活動を通じた地域とのつながりの創出

地域で開催されるスポーツイベント等の参加を通して、地域とのつながりを持てる機会になるように取り組んでいきます。

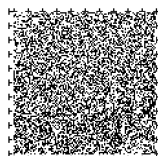
#### 2 社会との交流の促進

年代や心身の状況にかかわらず、希望する誰もが社会との交流が持てるよう、相談し支え合える場を提供します。



#### ④重点事業

事業名	事業内容	担当課
総合型地域スポーツクラブとの連携・活動支援	区民に様々なスポーツに触れる機会を提供する地域密着型のスポーツクラブである「総合型地域スポーツクラブ」に対し、啓発や活動場所の提供等を通じて支援します。指導力及び運営能力の向上を目的とした指導者養成講習会の実施等、運営の担い手となる人材の育成に向けた支援を行います。	スポーツ推進課
ランニング大会の開催	ファンランや競技性の高い種目等、こどもから大人まで幅広い世代が気軽に参加し、ランニングを始めるきっかけや継続する動機づけとなるよう、ランニング大会を開催します。また、家族や友人等、応援に来た人もスポーツを楽しむよう、各種スポーツの体験会をサブイベントとして実施します。	スポーツ推進課
区民スポーツまつり	体力測定や卓球教室等の様々なプログラムを開催することで、世代を越えたふれあいと、健康・体力づくりのきっかけとなる機会を提供します。	スポーツ推進課
子育てひろば	児童館、子ども家庭支援センター、一部の保育園及び一部の幼稚園等に設置され、親子でゆったり過ごしながら、子育ての不安や悩みを気軽に相談できる場所です。子育ての情報を提供し、子育て親子同士の交流を促進します。	子育て支援課 子ども家庭支援センター 保育サービス課 教育総務課
区民活動支援事業	区民活動団体の活動基盤の強化や、地域や団体間におけるコーディネート機能強化、団体同士のつながりづくりを促進するため、組織運営ノウハウや活動を活性化させる手法等を学べる講座、区民活動コーディネーターの視点を身に付け地域の中で連携や協働のアイデアを活かせる講座を行います。また、伴走支援や交流会等の開催による連携支援も行き、包括的に活動を支えます。	地域力推進課



## ⑤区民や企業・団体の取組例

### ■区民の取組

- 自治会やボランティア等の社会活動を通じて、健康づくりを実践する
- 自分が希望するコミュニティに参加する

### ■企業・団体の取組

- 働きやすい職場づくりを推進するとともに、余暇時間を活用して社会活動に参加できるように支援する
- 社会活動の実施や協力を通じて、社会とのつながりを醸成する

#### ▼おたランニングフェスティバル リレーマラソン



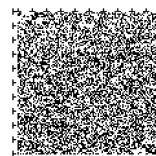
#### ▼子育てひろば



すべり台、乗り物等広々遊べる遊戯室



歩き始めから安心して遊べる園庭



## 施策2 自然に健康になれる環境づくり

施策の目標 自然に健康な行動をとることができる環境の整備  
多様な主体による健康づくりの推進

### ①数値指標

指標項目	現状値		目標値	
	数値	測定年度	数値	測定年度
職場や身近で健康づくりの情報が得られたり、健康づくりができる場所があると思う人の割合	—	—	30.0%	令和12年度
受動喫煙*を経験した人の割合	路上 : 43.8% 飲食店 : 27.8%	令和6年度	減少	令和12年度
公衆喫煙所整備及び運用	4か所	令和6年度	10か所	令和9年度

### ②現状と課題

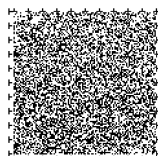
#### 「健康メニュー協力店」や「おおた健康経営事業所」と連携した取組を推進

健康的なメニューや健康に関する情報提供を行う店である「おおた健康メニュー協力店」や、区内において、企業が従業員の健康づくりを経営的な視点で考え、戦略的に実践する事業所として認定されている「おおた健康経営事業所」と連携し、事業所とともに、健康づくりに関する取組を進めています。

#### 今後の課題

健康づくりを効果的に進めるためには、行政だけでなく区内の事業所や団体等の協力が重要です。今後も様々な主体と連携を図り、健康づくりに関する取組を網羅的に推進していく必要があります。飲食店や区内事業所等と連携を図り、健康メニューや健康経営®\*の取組をより一層強化することが重要です。

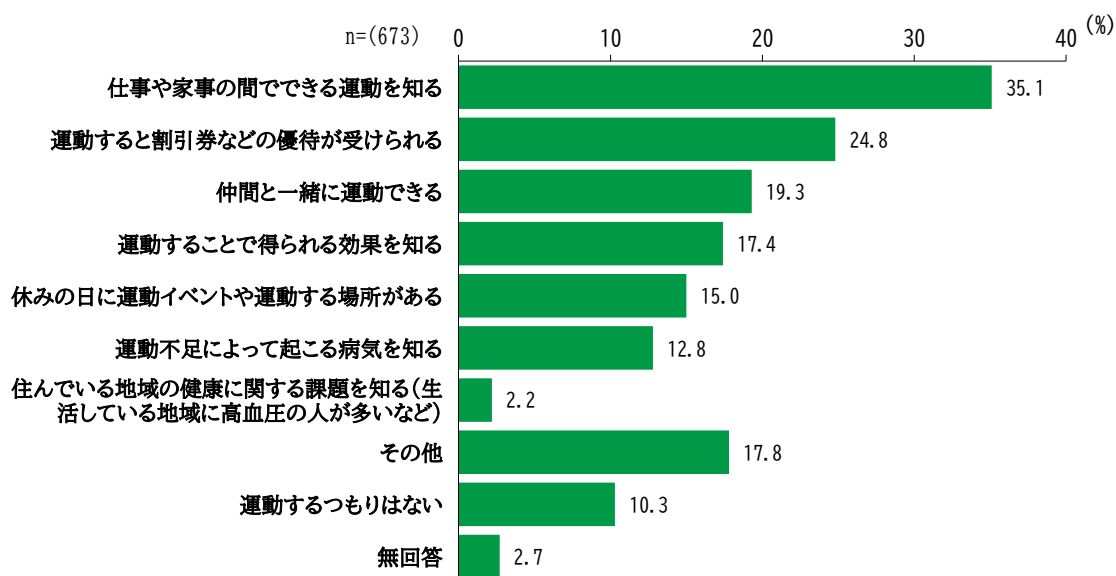
※健康経営®\*は、NPO法人健康経営研究会の登録商標です。



## 仕事や家事の合間のできる運動のニーズが高い

健康に関するアンケート（大田区、令和6年度）によると、「1日30分以上の軽く汗をかく運動を週2回以上していない人」は全体で54.1%を占めています。その人たちに「運動をしようと思う条件」を聞いたところ、「仕事や家事の間のできる運動を知る」が35.1%で最も高く、次いで「運動すると割引券などの優待が受けられる」が24.8%となっています。

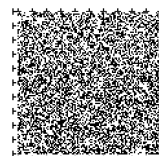
<運動をしようと思う条件>



出典：健康に関するアンケート（大田区、令和6年度）

### 今後の課題

健康寿命\*の延伸のためには、自ら健康づくりに取り組む人だけでなく、健康に関心の薄い人を含む幅広い層へのアプローチが重要です。そのために、本人が無理なく自然に健康な行動をとることができるよう、環境整備を行うことが求められています。身近で気軽にできる運動の周知や環境づくりを進める必要があります。



## 路上や事務所の敷地内屋外、飲食店内で受動喫煙\*をした人が多い

健康に関するアンケート（大田区、令和6年度）によると、受動喫煙\*を経験した場所としては、「路上及び事業所の敷地内屋外」が43.8%、「飲食店内」が27.8%と高くなっています。



### 今後の課題

受動喫煙\*による健康被害等を啓発することで、正しい理解の定着を図り、行動にかなげてもらえるよう取組を進める必要があります。また、受動喫煙\*防止に向けて喫煙場所の整備、分煙対策を進めていくことが重要です。

## ③施策の方向性

### 1 健康づくりにつながる環境の整備

健康メニュー協力店の拡充や、はねぴょん健康ポイント事業の実施、散策路の整備等、健康に関心の薄い人でも無理なく自然に健康づくり活動を行えるような環境を整備します。

### 2 事業者等と連携した健康づくりの推進

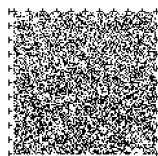
従業員の健康づくりを戦略的に行う区内事業所を「おおた健康経営事業所」として認定することで、事業者等が主体となり健康づくりに取り組む環境を醸成するとともに、健康づくりの重要性を周知啓発します。

### 3 受動喫煙\*対策の推進

健康増進法\*、東京都受動喫煙防止条例及び東京都子どもを受動喫煙から守る条例の趣旨を踏まえ、受動喫煙\*による健康への影響について、区民や事業者等へ周知します。

## ④重点事業

事業名	事業内容	担当課
健康メニュー協力店の拡充	食を通じた健康づくりを推進するため、区内飲食店に健康メニューを提供する協力を呼びかけます。	健康づくり課 地域健康課
はねぴょん健康ポイント事業	区民が健康づくりの活動成果を確認でき、また、「健康ポイント」を集め、一定のポイントがたまれば、インセンティブと交換できるようにします。	健康づくり課



事業名	事業内容	担当課
散策路の整備	呑川緑道、桜のpromenade及び海辺の散策路等、「大田区緑の基本計画グリーンプランおおた」における方向性に基づき、散策路整備の設計及び工事を行います。	都市基盤管理課 公園課
いきいき健康公園づくり	公園ストック再編のひとつとして、公園等に健康遊具を配置し、公園間のネットワークを活用したウォーキングコースを設定することで、健康増進を図ります。	公園課
健康経営*事業所認定・表彰事業	従業員の健康づくりを戦略的に行う区内事業所を「おおた健康経営事業所」として認定します。	健康医療政策課
受動喫煙*防止対策	健康増進法*及び東京都受動喫煙防止条例に基づき、多方面からの禁煙勧奨・受動喫煙*防止対策の強化を行います。	健康づくり課
屋外における喫煙対策の推進	民間による公衆喫煙所の設置及び維持管理に係る経費に対し助成を行います。 喫煙する人とならない人が共存できる環境を実現するため、巡回指導による条例の周知啓発や喫煙禁止重点対策地区における路上喫煙者等の定点調査を実施します。	環境政策課

### ⑤区民や企業・団体の取組例

#### ■企業・団体の取組

- 従業員や被保険者に健康に関する情報を提供する
- 健康に配慮したメニューを提供する
- 多様な主体と連携し、従業員の生活習慣病の予防や健康づくりの取組を推進する
- 健康増進法\*や東京都受動喫煙防止条例等を遵守した受動喫煙\*対策を実施する

#### ▼おおた健康経営事業所認定証及び認定記念盾

